# アカウンタビリティ養成研修

対象者：中堅職員

## 1. 研修の目的

アカウンタビリティ(情報開示及び説明責任)の重要性が高まるなかで、本研修を通じてアカウンタビリティへの本質的な理解と、相手に真意が伝わる論理的説明についての確認を行うことで、真の課題解消に向けた能力を学ぶ。

## 2. 研修の特徴

【基礎理解】
アカウンタビリティの意味合いの変遷を確認しながら、重要性を再認識する。
【情報共有】
各職員が内包する関連経験を幾つかのワークを通じて相互開放し、参加者間で共有する。
【目標設定】
研修を通じて学んだアカウンタビリティを、明日からのどのように活かすか目標を設定する。

## 3. 研修内容

| | 内容 | 詳細、得たい成果 |
|---|---|---|
| 9:00 | **1. オリエンテーション**<br>・自己紹介<br>・研修の目的とゴール<br>・アカウンタビリティに対する印象 | ・研修全体の目的と自身の課題感をすり合わせすると同時に研修のゴールを確認する。 |
| | **2. アカウンタビリティと市政における重要性**<br>1）アカウンタビリティが重要視される社会的背景<br>2）アカウンタビリティの変遷<br>3）アカウンタビリティの重要性 | ・アカウンタビリティに関する基礎理解及び近年重要視されるようになった背景を確認する。 |
| | **3. 論理的思考と説明力**<br>1）アカウンタビリティを構造的に考える<br>2）アカウンタビリティに欠かせない論理的思考と説明力 | ・アカウンタビリティに欠かせない論理的思考を学び、共通のテーマを基に全体で考える。 |
| | **4. アカウンタビリティを実例から考える**<br>1）小グループでアカウンタビリティが求められる領域を選択<br>2）同領域に関して「だれに・何を・どうして・いつ・どのように」の様を基に論理的思考で整え確認 | ・グループで対象ケースを選択し、論理的思考で考え、実業務との相関を導き出す。 |
| 16:30 | **5. 本日の振り返り、明日に活かす**<br>・本日の振り返りと明日からの実務への活用法を考える<br>・セルフコミットメント | ・本日の学びの振り返りと明日からの実務への活用を考える。 |